



お問い合わせや最新ルールの情報などは
公式WEBサイトから！

<https://ragaraga-lab.com>

都道府県 地理トリ

と どう ふ けん ち り ばん
- 都道府県地理トリ(2025版)ルールブック -

都道府県 地理トリ 2025版

©2025 Shiguregokochi Inc.

©2025 rakugakobo Inc.



都道府県
地理





『都道府県 地理トリ』は、日本の都道府県にまつわる様々な情報を使って行うカードゲームです。いろいろな遊び方を工夫して、みんなで楽しみましょう。

一セットの内容

① 都道府県カード

各都道府県 1枚 / 合計 47枚

都道府県名



隣接する都道府県名

トンネルや橋でつながっている場合も含まれます。また、このゲームでは特例として、沖縄県と鹿児島県の間を「フェリー」で隣接しているとみなします。



都道府県のシルエット

※ カード表面および裏面の都道府県の形は、ゲーム用に簡略化・デザイン化されたものです。また、一部を除き離島等は記載を割愛している場合があります。ご了承ください。

② 地理トリカード

カードのテーマ



ランキングカード 60枚



データカード 41枚



見たい行きたいカード 9枚



知ってるカード 7枚



ファンクションカード 6枚

合計 123枚

※ カードに掲載している情報は本ゲーム制作時のものです。ゲーム発売後に変更になる場合があります。お祭りの日程は年によって変わることがあります。

スタンダード ルール

ルール1 地理トリ・ランドリ合戦

プレイヤー数: 2~4人程度 プレイ時間: 15~30分 対象: 8歳以上

■使用するカード

都道府県カード、ランキングカード、データカード、見たい行きたいカード、
知ってるカード、ファンクションカード

一遊び方一

●ゲームの目的 / 勝利条件

各プレイヤーは順番に、手札を使って都道府県カードを集めます。一番早く都道府県カードを10枚集めるか、いずれかの地方(北海道地方を除く)の都道府県カードを全て集めたプレイヤーが勝利となります。

●ゲームの準備

①都道府県カードの準備

- 1) 全ての都道府県カードをよくシャッフルし、2枚ずつ配ります。プレイヤーは配られた都道府県カードを、自分の前に表向きにして並べます。各プレイヤーは都道府県カードを2枚持っている状態から、ゲームを始めることとなります。
- 2) 残った都道府県カードは、裏面(シルエットの面)を上にして重ねて場に置きます。

- 3) 重ねたカードの上から8枚を、表向きに下の図のように並べます。



②地理トリカードの準備

- 1) 全ての地理トリカードをよくシャッフルして、各プレイヤーに7枚ずつ配ります。これが、プレイヤーの手札となります。
- 2) 残った地理トリカードを裏向きに重ねて場に置き、山札とします。

③順番を決める

じゃんけんなどで、スタートプレイヤーを決めます。スタートプレイヤーから時計回りでゲームを進めていきます。

●ゲームの流れ

- 1) スタートプレイヤーから、時計回りの順番にプレイします。各プレイヤーの1回のプレイをターンと呼びます。自分のターンでは、手札を使って、以下の3種類のアクションを行うことができます。

- ① 場にある都道府県カードを取る[ランドリ]
- ② 他のプレイヤーの都道府県カードを取る[ノットリ]
- ③ ファンクションカードを使う

アクションの順番・回数は自由です。また、自分のターンでも、ヨコドリによって、都道府県カードを取ることができます。ヨコドリは防御することもできます。

- 2) 自分のターンで行うアクションが全て終了したら、手札が7枚になるように山札からカードを補充します。「ノットリ」や「ヨコドリ」の防御をするために手札を使った場合も、カードを補充できるのはこのタイミングだけです。

- 3) 行えるアクションが無い場合やアクションを行わない場合は、パスすることができます。パスの場合は、不要な手札を捨てて、捨てた枚数のカードを山札から補充してください。山札が無くなった場合は、捨て札を集めてシャッフルし、新たな山札としてください。

- 4) 各プレイヤーのターンを順番に繰り返し、いずれかのプレイヤーが勝利条件を達成したら、その時点でゲームは終了です。

●アクション

① ランドリ/ヨコドリ

1) ランドリ

場に出ている都道府県カードを取るアクションです。手札の中に、表になっている都道府県がランキングしているランキングカードがある場合、それを1枚出すことで、その都道府県カードを取ることができます。手札に出せるカードがあれば、何度でもランドリを行うことができます。使ったランキングカードは、捨て場に置きます。

「ランキングカードのテーマ」「取りたい都道府県の名前と順位」をはっきりと宣言しましょう。

2) ヨコドリ

ランドリを邪魔して都道府県カードを横取りするアクションです。他のプレイヤーが、ある都道府県カードに対してランドリを行ったとき、そのプレイヤーが出したランキングカードよりも、高いランクで該当するランキングカードを持っていれば、その都道府県を横取りできます。ヨコドリした側、された側の両方も、使ったカードは捨て場に置きます。

「ランキングカードのテーマ」「取りたい都道府県の名前と順位」をはっきりと宣言してカードを出しましょう。

3) パワーアップ

ランドリを行うとき、取りたい都道府県が該当しているデータカードがある場合、それをランキングカードと合わせて出すことで、パワーアップができます。データカード1枚につき、ランキングレベルが1つ上がります。ヨコドリの際も同様です。データカードは同時に何枚でも使うことができます。ランキングの順位が1位の場合でもパワーアップは可能です。

「データカード〇〇を使って、パワーアップ！」
と宣言して出しましょう。

4) 都道府県カードの補充

ランドリ/ヨコドリによって、場の都道府県カードが取られた場合、すぐに中央の山札から1枚を表向きにして補充します。場には常に8枚の都道府県カードが並んでいる状態となります。補充されたカードは、同じターン内に続けて取ることが可能です。

② ノットリ

ノットリは、他のプレイヤーの都道府県カードを取るアクションです。手札の中に、他のプレイヤーが持っている都道府県名が記載されているデータカードまたはランキングカードが合計2枚以上あれば、その都道府県カードに対して、ノットリを行えます。

1) ノットリの攻防

- ① 攻撃側(ノットリを仕掛ける側)の攻撃力が、防御側(都道府県カードを狙われる側)の防御力を上回った場合、ノットリは成功となり、攻撃側はその都道府県カードを取ることができます。
- ② 攻撃側が最初にカードを出します。攻撃側が出すカードの枚数が「攻撃力」となります。防御側の最初の「防御力」は1です。つまり、最低2枚のカードが無ければ、ノットリを行うことはできません。
- ③ 防御側は、手札の中に、狙われた都道府県が該当するデータカードまたはランキングカードを持っている場合、そのカードを防御に使うことができます。カード1枚につき、防御力が1アップします。
- ④ 攻撃側・防御側とも、カードは何枚使っても構いません。確実にノットリたい場合は、できるだけ多くの枚数で攻撃した方が良いでしょう。また、ノットリの場合も、使うカードは、テーマを宣言してカードを出すようにしましょう。使ったカードは全て捨てます。

2) 防御のための都道府県連結

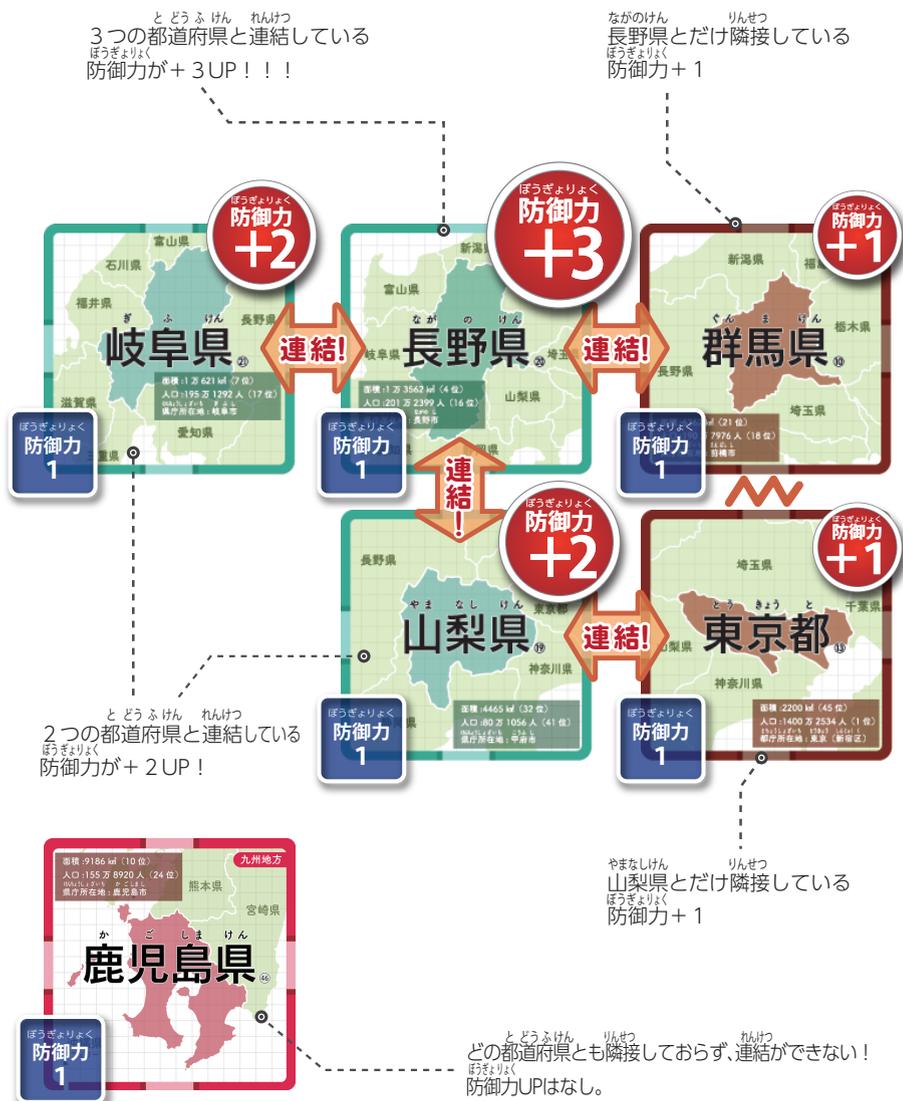
自分が持っている都道府県が隣接する場合、連結して並べること
で防御力がアップします。都道府県カードの表面に示された「隣接
する都道府県名」を参考にして配置してください。

連結しているカードの枚数分だけ、防御力がプラスされます。

カードを連結させる方向は、実際の位置関係に合わせる必要はありません。
連結できる方向は上下左右の4面だけです。4面のどこで連結
させても構いませんが、重ねたり、ずらしたり、斜め方向へ配置し
たりすることはできません。

また、カードが隣り合って並んでいても、隣接する都道府県ではない
場合は、防御力アップの対象外です。

一度連結したカードの配置は、変更することができません。
最も効率よく防御できるように配置していきましょう。



③ 特別な効果を持つカード



見たい! 行きたい! カード

カードに書かれた都道府県を一つ選んで、ランキング1位相当のランキングカードとして使用することができます。ノットリの攻防にも使うことができます。

知ってるカード



カードに書かれたお題を宣言することで、ランキング1位相当のランキングカードとして使用することができます。ただし、宣言の間違いを他のプレイヤーに指摘された場合は無効となります。ノットリの攻防に使うこともできます。

例) 「ゆかりの人物」カードを出して、「高知県・坂本龍馬!」と宣言すれば、高知県のランキング1位カードになります。

④ ファンクションカード



プラス1カード

ランドリの時のランキングレベルや、ノットリの時の攻撃力・防御力を1増やすことができるカードです。



いれかえカード

自分が持っている都道府県カードと、他のプレイヤーが持っている都道府県カードを、1枚入れ替えることができます。自分のターンでのみ使用できます。このカードによって、連結していた都道府県カードが入れ替えられた場合、元のカードがあったところは空きスペースになります。

チェンジカード



場に並んだ8枚の都道府県カードを全て流して、新たな8枚を並べることができるカードです。自分のターンでのみ使用できます。流したカードは除けて置いておき、都道府県カードの山札が無くなった場合に、シャッフルして山札として再度使用します。



地理トリは、いろいろな遊び方ができるゲームです。
ここでは、スタンダードルール以外の遊び方を、2つ
紹介します。

ルール2 都道府県シルエットめくりゲーム

プレイ人数: 2~5人程度 プレイ時間: 15~30分 対象: 8歳以上

使用するカード

都道府県カード

遊び方

●ゲームの目的 / 勝利条件

シルエットを手がかりにして、隣接する組み合わせの都道府県
カードを取っていくゲームです。一番多くの都道府県カードを
取ったプレイヤーが勝ちとなります。

●ゲームの準備

- ① 全ての都道府県カードを、裏面を上にして並べます。
- ② じゃんけんなどで、スタートプレイヤーを決めます。スタートプレイヤーから時計回りでゲームを進めていきます。

●ゲームの流れ

- 1) 都道府県カードを2枚めくり、めくった2枚のカードが隣接する都道府県だった場合、その2枚のカードを取ることができます。取ることに成功したら、続けてカードをめくることができます。隣接していなかった場合は、カードを元の状態に戻して、自分の手番を終了します。
- 2) 自分の手番の時、「残っている都道府県カードでは隣接する組み合わせが無い」と判断したら、「隣接無し」と宣言して、全てのカードを表にします。
宣言通り、隣接する組み合わせが無かった場合は、そのカードを全て取ることができます。隣接する組み合わせが残っていた場合は、カードを元に戻し、ペナルティとして手持ちの都道府県カードを1枚ずつ他のプレイヤーに渡し、自分の手番を終了します。渡すカードの枚数が足りない場合、そのプレイヤーは負けが決定となり、ゲームから抜けます。
- 3) 場のカードが全て無くなったらゲーム終了です。終了時に都道府県カードを一番多く持っているプレイヤーの勝利です。

ルール3 地理トリ 知識王バトル

プレイ人数: 2人 プレイ時間: 10~20分 対象: 10歳以上

■使用するカード

都道府県カード、ランキングカード、データカード

一遊び方

●ゲームの目的 / 勝利条件

お互いに出しあうテーマに該当する都道府県カードを取っていく、クイズ型対戦ゲームです。都道府県に関する知識が試されますよ！

●ゲームの準備

- 1) 都道府県カードをシャッフルして、裏向きに重ねて置いて山札とします。上から10枚を表にして、場に並べます。
- 2) ランキングカードとデータカードをよくシャッフルし、5枚ずつ配ります。
- 3) じゃんけんなどで、先攻後攻を決めます。先行が先に出题者になります。

●ゲームの流れ

- 1) 出题者は、手持ちのカード（ランキングカード / データカード）から1枚を選び、そのカードのテーマ（カードの上部の内容）を読みあげます。

- 2) 回答者は並べられた都道府県カードの中から、そのテーマに合致するものを選び、出题者に示します。出题者は正誤判定を行います。

- 3) 正解だった場合、選んだカードは回答者のものになり、不正解の場合は、出题者のものになります。

- 4) 回答者は、合致するカードが複数あると判断した場合、一度に複数のカードを選んでも構いません。正解の場合は、選んだカードが全て回答者のものになります。ただし、選んだカードの中に1枚でも合致しないものがあった場合は不正解となり、選んだカードは全て出题者のものになります。

※合致するカードが複数ある場合でも、全てを選ぶ必要はありません。合致するカードを1枚でも選び出すことができれば正解となります。

- 5) 合致するカードが1枚も無いと判断した場合は、「無し」と回答します。「無し」が正解だった場合、回答者は並べられたカードから好きなものを2枚取ることができます。逆に該当する都道府県があった場合は不正解となり、出题者が好きなカード2枚を取ることができます。

- 6) 正誤判定が終わったら、その回は終了です。取られてなくなった枚数の都道府県カードを山札から補充し、出題と回答を交代します。

- 7) これを出題用の手札が無くなるまで(5回ずつ)繰り返し、最後に持っている都道府県カードの枚数が多いプレイヤーの勝利です。